

現代西洋経済史(2004年度冬学期)文献リスト

2004年10月18日
小野塚 知 二

群の3冊は必読。群の4は経済史統計として簡便なもので、利用価値が高い。このほか、～群から各1ないし2冊ずつ読めば、多少は複眼的な思考も養われるであろう。19世紀(第1次大戦まで)のヨーロッパ経済を概説したものは少ない(外国語でも同様)。20世紀のヨーロッパ経済については最近いくらか出てきたが、アメリカへの言及が概して薄いため、ここでは26と27を特に紹介しておく。このほか、各国別・時期別・テーマ別のモノグラフは膨大に(外国語ではほとんど無限に)あるから、関心のある者は相談されたい。および群に関する書物も最近続々と刊行されて、ここで到底網羅できない。・について外国語では、英語文献は限られており(37, 38の資料集は有益)、多くはヨーロッパ大陸の諸言語で書かれている。このリストの中で小野塚が書いているのは、16、28、34、35、57だが、ヨーロッパ統合史に関係するのは34と35だけである。

教科書に準ずるもの

- 1 藤瀬浩司『新訂 欧米経済史 - 資本主義と世界経済の発展 - 』日本放送出版協会、1999年。
- 2 原輝史・工藤章編『現代ヨーロッパ経済史』有斐閣、1996年。
- 3 H.ケルブレ『ひとつのヨーロッパへの道 - その社会史的考察 - 』日本経済評論社、1997年。

19～20世紀のヨーロッパ経済史に関する文献

- 4 宮崎犀一・奥村茂次・森田桐郎編『近代国際経済要覧』東京大学出版会、1981年。
- 5 E.J.ホブズボーム『市民革命と産業革命 - 二重革命の時代 - 』岩波書店、1968年。
- 6 E.J.ホブズボーム『産業と帝国』未来社、1984年。
- 7 E.J.ホブズボーム『資本の時代 1848-1875』1・2 みすず書房、1981,82年。
- 8 E.J.ホブズボーム『帝国の時代 1875-1914』1(・2) みすず書房、1993年(訳書2は未刊)。
- 9 E.J.ホブズボーム『20世紀の歴史 - 極端な時代 - 』上・下 三省堂、1996年。
- 10 E.J.ホブズボーム『ナショナリズムの歴史と現在』大月書店、2001年。
- 11 藤瀬浩司『資本主義世界の成立』ミネルヴァ書房、1980年。
- 12 権上康男・廣田明・大森弘喜編『20世紀資本主義の生成 - 自由と組織化 - 』東京大学出版会、1996年。
- 13 廣田功・森建資編著『戦後再建期のヨーロッパ経済 - 復興から統合へ - 』日本経済評論社、1998年。
- 14 アムプロジウス/ハバード『20世紀ヨーロッパ経済史』名古屋大学出版会、1991年。
- 15 廣田功・奥田央・大澤真理編『転換期の国家・資本・労働 - 戦間期の比較史的研究 - 』東大出版会、1988年。
- 16 秋元英一・廣田功・藤井隆至編『市場と地域 - 歴史の視点から - 』日本経済評論社、1993年。
- 17 工藤章編『20世紀資本主義 覇権の変容と福祉国家』東京大学出版会、1995年。
- 18 東京大学社会科学研究所『20世紀システム2 経済成長 基軸』東京大学出版会、1998年。
- 19 藤瀬浩司編『世界大不況と国際連盟』名古屋大学出版会、1994年。
- 20 ベレンド/ランキ『ヨーロッパ周辺の近代 1780～1914』刀水書房、1991年。
- 21 ミシェル・ポー『資本主義の世界史 1500-1995』藤原書店、1996年。
- 22 ハーバート・フェイス『帝国主義外交と国際金融 1870-1914』筑摩書房、1992年。
- 23 ルネ・ジロー『国際関係史1871～1914年 ヨーロッパ外交、民族と帝国主義』未来社、1998年。
- 24 島田悦子『欧州経済発展史論 - 欧州石炭鉄鋼共同体の源流 - 』日本経済評論社、1999年。
- 25 篠原一『ヨーロッパの政治 [歴史政治学試論]』東京大学出版会、1986年。
- 26 秋元英一『アメリカ経済の歴史 1492-1993』東京大学出版会、1995年。
- 27 柴田徳太郎『大恐慌と現代資本主義 - 進化論的アプローチによる段階論の試み - 』東洋経済新報社、1996年。
- 28 奈倉文二・横井勝彦・小野塚知二『日英兵器産業史とジーマンス事件 - 武器移転の国際経済史 - 』日本経済評論社、2003年。

- 29 Lee A.Criag & Douglas Fisher, The Integration of the European Economy, 1850-1913, Macmillan, 1997.
30 P.M.H.Bell, France and Britain 1900-1940: Entente and Estrangement, Longman, 1996.

ヨーロッパ統合史に関する文献

- 31 S.ポラード『ヨーロッパの選択 - 経済統合への途 1815～1970年 - 』有斐閣、1990年。
32 原輝史『EU経営史』税務経理協会、2001年。
33 清水貞俊『欧州統合への道 - ECからEUへ - 』ミネルヴァ書房、1998年。
34 第17回よこはま21世紀フォーラム実行委員会『ヨーロッパ統合と日本』（『横浜市立大学論叢』社会科学系
列第52巻第2号）、2001年2月。
35 永岑三千輝・廣田功編『ヨーロッパ統合の社会史 - 背景・論理・展望 - 』日本経済評論社、2004年。
36 ロベール・フランク『欧州統合史のダイナミズム - フランスとパートナー国 - 』日本経済評論社、2003年。
37 Trevor Salmon & Sir William Nicol eds., Building European Union: A Documentary History and Analysis,
Manchester University Press, 1997.
38 A.G.Harryvan & J.van der Harst eds., Document on European Union, Macmillan, 1997.
39 P.M.H.Bell, France and Britain 1940-1994: The Long Separation, Longman, 1997.
40 C. Wurm ed., Western Europe and Germany: The Beginnings of European Integration 1945-1960, Berg, 1995.
41 Edmund Dell, The Schuman Plan and the British Abdication of Leadership in Europe, OUP, 1995.
42 Martin J.Dedman, The Origins and Development of the European Union 1945-95, Routledge, 1996.
43 R. Bideleux & R. Taylor eds., European Integration and Disintegration: East and West, Routledge, 1996.
44 Hartmut Kaelble, Europäer über Europa; Die Entstehung des europäischen Selbstverständnisses im 19. und 20.
Jahrhundert, Campus Verlag, Frankfurt a.M., 2001.

EUの現状に関する文献

- 45 佐々木隆生・中村研一編著『ヨーロッパ統合の脱神話化 - ポスト・マーストリヒトの政治経済学 - 』ミ
ネルヴァ書房、1994年。
46 島野卓爾・岡村堯・田中俊郎編著『EU入門 - 誕生から、政治・法律・経済まで - 』有斐閣、2000。
47 内田勝敏・清水貞俊編著『EU経済論 - 拡大と変革の未来像 - 』ミネルヴァ書房、2001年。
48 岡伸一『欧州統合と社会保障 - 労働者の国際移動と社会保障の調整 - 』ミネルヴァ書房、1999年。
49 H.-E.シャーラーほか『ユーロとEUの金融システム』日本経済評論社、2003年。
50 前田充康『EU拡大と労働問題』日本労働研究機構、1998年。
51 濱口桂一郎『EU労働法の形成 - 欧州社会モデルに未来はあるか? - 』日本労働研究機構、1998年。
52 田中俊郎『EUの政治』岩波書店、1998年。
53 前田啓一『EUの開発援助政策』御茶の水書房、2000年。
54 David Baker & David Seawright eds., Britain For and Against Europe: British Politics and the Question of
European Integration, Clarendon Press, 1998.
55 Gareth Dale & Mike Cole eds., The European Union and Migrant Labour, Berg, 1999.
56 B.Laffan, R.O'Donnell & M.Smith, Europe's Experimental Union: Rethinking Integration, Routledge, 2000.

その他の概説書

- 57 馬場哲・小野塚知二編『西洋経済史学』東京大学出版会、2001年。
58 石見徹『世界経済史』東洋経済新報社、1999年。
59 関口尚志・梅津順一『欧米経済史 - 近代化と現代 - 』放送大学教育振興会、1995年。
60 神武庸四郎・萩原伸次郎『西洋経済史』有斐閣Sシリーズ、1989年。
61 楠井敏朗・馬場哲・諸田實・山本通『エレメンタル西洋経済史』英創社、1995年。
62 石坂昭雄・船山榮一・宮野啓二・諸田實『新版 西洋経済史』有斐閣双書、1993年。